

『草原の河』公開記念 ～ソントルジャとの出会い～

TUFS Cinema
Tokyo University of Foreign Studies

チベット映画特集

入場
無料

この春、チベット人監督として初めて日本で劇場公開されるソントルジャ監督の『草原の河』。その公開を記念して、チベット映画の傑作を上映します。監督のデビュー作『陽に灼けた道』をはじめ、チベット人監督の第一人者であり、ソントルジャ監督より一足先に国際舞台で活躍しているペマ・ツェテン監督の『ティマー・クンデンを探して』、『オールド・ドッグ』（2011年東京フィルメックス最優秀作品賞受賞）を上映するほか、『チベット牧畜民の仕事展』で好評を博したドキュメンタリー『チベット牧畜民の一日』も同時上映。いずれも日本では上映されることのない貴重な作品です。チベット文化を深く知ることのできる映画の数々、ぜひこの機会にご鑑賞ください。

2017年
4月15日(土) 12:00開場



12:30～
ティマー・クンデンを探して

監督:ペマ・ツェテン、撮影:ソントルジャ

15:30～
オールド・ドッグ

監督:ペマ・ツェテン、撮影:ソントルジャ



14:30～15:20
トークイベント (1作目上映後) 司会:武井みゆき (映画配給会社ムヴィオラ代表)

「チベット映画人のリーダー:ペマ・ツェテンとソントルジャ」

市山尚三 (映画プロデューサー/東京フィルメックス・プログラムディレクター)

× 星泉 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

2017年
4月22日(土) 12:00開場



12:30～
チベット牧畜民の一日

撮影:カシャムジャ

15:30～
陽に灼けた道

監督:ソントルジャ



14:15～15:15
トークイベント (1作目上映後) 司会:武井みゆき (映画配給会社ムヴィオラ代表)

「東北チベットの暮らしとソントルジャの世界」

三浦順子 (翻訳家)

× 星泉 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

会場:東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール

入場:無料/先着順(入れ替えなし)/申込み不要 定員:501名

主催:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)、ムヴィオラ

協力:Director Sonthar Gyal / Director Pema Tsenden / Director Kashem Gyal / 東京フィルメックス / 福岡市総合図書館



TUFS Cinema とは

東京外国語大学において

大使館・映画配給会社などの

関係機関の支援・協力により

世界の諸言語による

映画・演劇および講演会などを

実施するプロジェクト。

このたび

「チベット映画特集」として

チベットの映画4本を上映します。

これらの映画を紹介することにより

チベットの社会文化理解の一端を

担っていくことが

本上映会の目的です。

チベット、牧畜を営む家族、幼い娘は、母が新しい命を授けたと知り、母を取られてしまうと心を痛める。その父は、ある出来事をきっかけに自分の父親を今も許せていない。娘、その父、そして祖父、峻烈な映像で家族三代の想いを描くソントルジャ監督の感動作。 配給:ムフィオウ



[交通アクセス]

- JR中央線
「武蔵境」駅より西武多摩川線「多摩」駅下車徒歩5分
(JR新宿駅から約40分)
- 京王電鉄
「飛田給」駅北口より多摩駅行き京王バスにて約10分
「東京外国語大学前」下車

[お問い合わせ]

東京外国語大学 総務企画課広報係
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
Tel: 042-330-5150 (土日祝をのぞく9:00-17:00)
Email: soumu-koho@tufs.ac.jp
http://www.tufs.ac.jp

4月15日(土) 12:00開場 12:30開映

ティメー・クンデンを探して

The Search

一台の車がチベット高原をひた走っていく。車に乗っているのは映画監督、カメラマン、ドライバー、そして皆から社長と呼ばれる男。一行は、チベット歌劇「ティメー・クンデン王子の物語」をモチーフにした次回作の役者探しの旅の途上にあつた。社長の高内のもと、村々やきりくまの一行の目の前で、歌劇「ティメー・クンデン」の名場面の数々が、そしてそれに関わる人々のエピソードが披露されていく。監督は果たして自らが思い描く主演に巡り合うことができるのか?

2009年上海国際映画祭で審査員特別賞、
同年ロカルノ国際映画祭公式招待。

中国、フランス
2008年/チベット語/112分/劇映画/
日本語・英語字幕付き
監督:ペマ・ツェテン
撮影:ソントルジャ
出演:メンラキャブ、ツォンディ、ルモツォ



©Pema Tseden

4月15日(土) (『ティメー・クンデンを探して』に続き) 15:30開映

オールド・ドッグ

Old Dog

1990年代末、チベット高原には中国人富裕層たちのあいで富の象徴として高値で取引されるようになったマスティフ犬をもとめて、仲買人たちが出沒するようになっていた。老マスティフ犬を大切にしていた父親は、犬を高値で売り飛ばそうとする息子、なんとか犬を買い取ろうとしてしつこく付きまとう仲買人、さらには家のまわりをうろつく犬糞掃などの様々な周囲からのプレッシャーにさらされつづき、心の休まる時がない。ついに彼はある苦渋の決断を下すことになる。その決断とは……。

2011年東京フィルムフェクス国際映画祭最優秀作品賞。

中国
2011年/チベット語、漢語/88分/劇映画/
日本語・英語・漢語字幕付き
監督:ペマ・ツェテン
撮影:ソントルジャ
出演:ロチ、ドルマキャブ、タムディンツォ



©Pema Tseden

4月22日(土) 12:00開場 12:30開映

チベット牧畜民の一日

A Day in the Life of Tibetan Pastoralists

電気もガスも水道もない標高3,400mの高地。そこでは人間のもっているありとあらゆる能力を使わないと暮らしていけない。家畜の世話はもちろん、食料や燃料の調達、水汲み、洗濯、放牧、住まいに至るまで、自らの手と足を動かし、生きていくための環境を整える。そんな彼らの日々の暮らしを支えているのは、仏への祈り、山の神への祈りだ。乳しぼりや水汲み、放牧をしながらも祈りの言葉を唱え、生きとし生けるすべてのものの幸せを祈り続けている。そんなチベットの牧畜民の姿を収録した貴重な映像。

日本
2017年/チベット語/95分/
ドキュメンタリー/日本語字幕付き
撮影・編集:カシャムジャ
企画・制作:東京外国語大学AA研*
「チベット牧畜民の一日」制作チーム
出演:R家のみなさん、K家のみなさん



©"A Day in the Life of Tibetan Pastoralists" Production Team

4月22日(土) (『チベット牧畜民の一日』に続き) 15:30開映

陽に灼けた道

The Sun Beaten Path

母親の死に対して強い自責の念にとらわれ、心を閉ざしたニマは、深い苦しみを抱えてラサへの巡礼の旅に出る。しかしその巡礼行が彼の心を癒やすことはなかった。失意のままバスで故郷に戻るニマが道中で出会ったのが、家族の問題でやるせない思いを抱えたまま旅を続ける老人だった。老人はニマのことが気がかりでたまらず、バスを降りて共に旅を続ける。老人の温かい語りかけに、ニマは少しずつ心をひらいていく。そのうち老人自身が抱えている問題も明らかにされ、二人は交流するうちに希望の光を取り戻していく。

2011年バンクーバー国際映画祭ドラゴン&タイガー賞。

中国
2010年/チベット語/89分/劇映画/
日本語字幕付き
監督:ソントルジャ
出演:イシェ・ルンドゥブ、ルジェ、
カルザン・リンチェン



©Sonthar Gyal

*アジア・アフリカ言語文化研究所